

# “命を守る”ためのICT活用地域密着型防災システム

(光原 弘幸)

(徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部)

研究開発期間：フェーズⅡ：平成27～28年度

## 1 研究開発の目的

本課題では、南海トラフ巨大地震による甚大な被害が予想される徳島県でさえも災害・防災を“他人事”と考える地域住民が少なくないことを問題視し、(1)住民が気軽に防災活動に参加でき、(2)個人はもちろん地域全体が恩恵を受け、(3)住民だけでなく新来者や一時滞在者も安心できる、ICT活用地域密着型防災システムを実現して“命を守る”防災を展開する。

## 2 研究開発の概要

“防災+ゲーム+集合知”の組み合わせに着目し、(1)地域住民がゲーム感覚で防災情報・知識の蓄積や防災教材の作成に参加できるWebシステム、(2)蓄積・共有された防災情報・知識、防災教材及び実施した避難訓練について住民が議論や災害図上訓練のできるWebシステム、(3)現在急速に普及しつつあるスマートフォン上で防災教育(避難訓練)の機会を無理なく提供するモバイルシステムを開発する。そして、徳島県の複数地域を対象にその有効性を検証する。

## 3 期待される研究開発成果及びその社会的意義

開発システムはWebやスマートフォンをプラットフォームとしており、地域防災力強化のための気軽なツールとして広く普及することが期待される。ICT活用地域密着型防災を確立し普及させる本課題は、南海トラフ巨大地震を含む大規模災害から国民の“命を守る”という点でその社会的意義は大きい。

